

# 漁海況情報

第465号 (平成23年3月14日)

TEL0235(33)3150 FAX0235(33)0379  
 ホームページ: [www.pref.yamagata.jp/ou/norinsuisan/147010/](http://www.pref.yamagata.jp/ou/norinsuisan/147010/)

水産試験場「最上丸」と水産課「月峯」は2月23日と3月1日に沿岸の水温観測を実施しました。

- ・表層～50m層と300m層は「**平年並み**」、100m層～200m層は「**平年よりやや低め**」でした。
- ・50m層～200m層の飛島周辺は、他の海域よりも低めでした。
- ・日本海区水産研究所のJADE(日本海海況予測システム)の3月8日版によると、対馬暖流は大きく蛇行しており、冷水域は飛島周辺に差込んでいます。
- ・平成4年に本県沖に冷水域が差込み、3～4月にはえなわ漁業でサクラマスが65トン獲れた事例があり、北上・南下する回遊魚や底魚に対してどのような影響があるか注目しています。

沿岸25海里定点各層別の平均水温

単位:°C

	表層	50m層	100m層	150m層	200m層	300m層
本年	9.2	9.4	8.7	7.2	4.8	1.5
前年差	-1.1	-0.7	-1.4	-2.9	-1.6	-0.4
平年差	+0.2	-0.1	-0.6	-1.9	-1.6	-0.3
評価	平年並み	平年並み	やや低い	やや低い	やや低い	平年並み
(前月評価)	やや高い	平年並み	平年並み	平年並み	やや高い	—

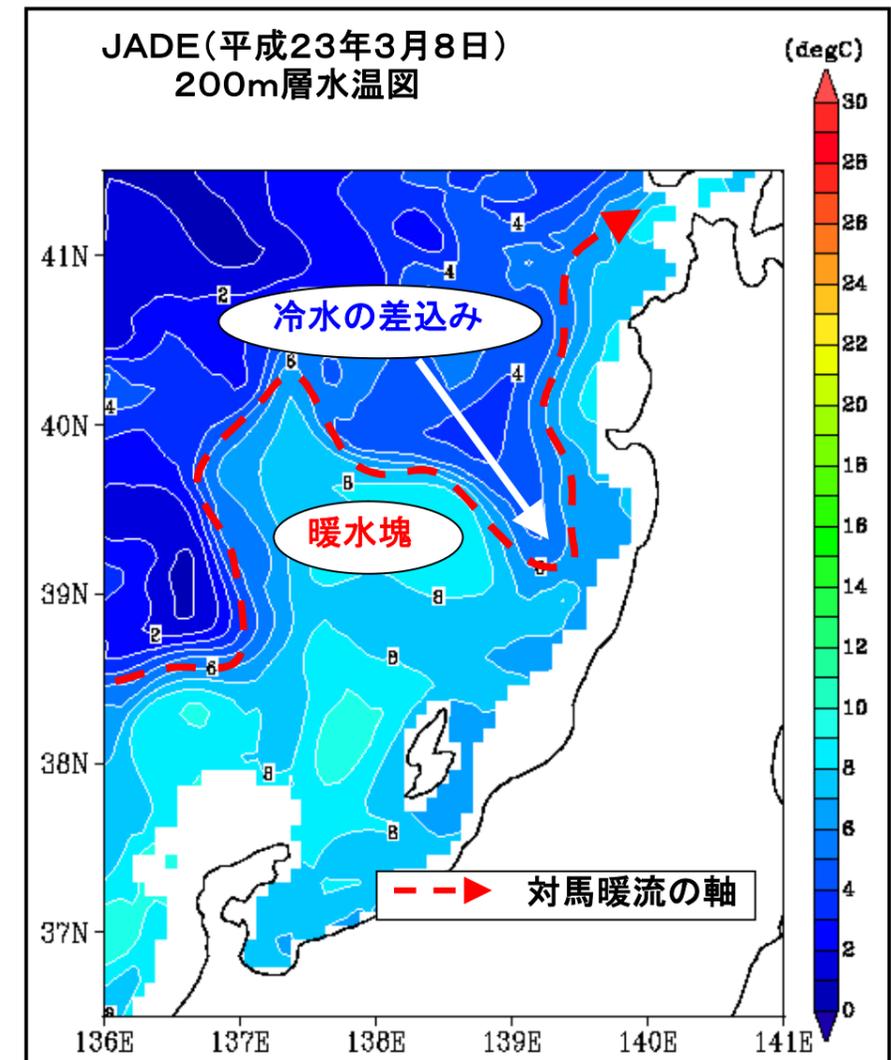
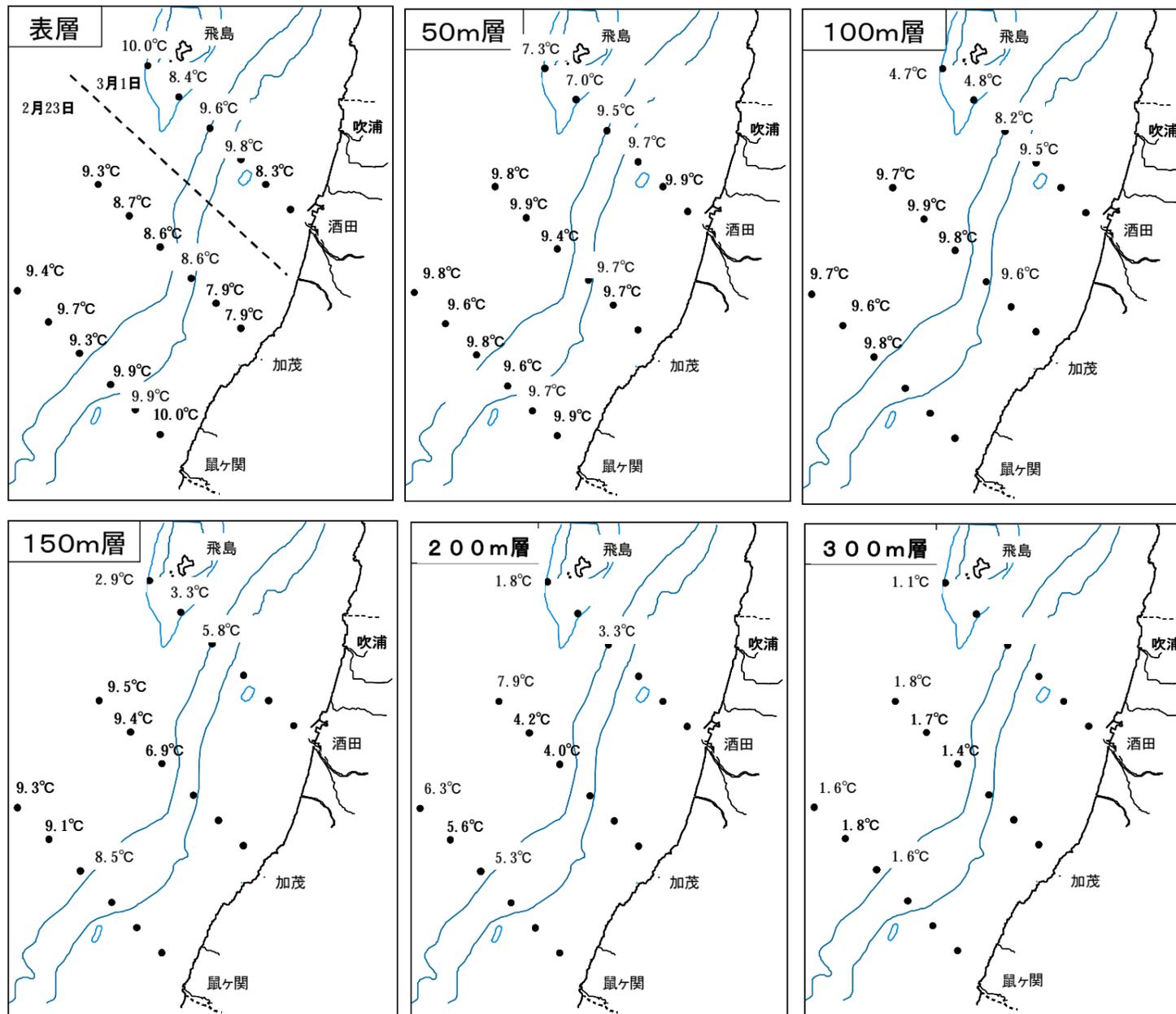
評価の表現: "平年並み"は約2年に1回, "やや"は約4年に1回, "かなり"は約10年に1回, "はなはだ"は約20年以上に1回の出現確率を表しています。

地先平均水温(2月)

単位:°C

場所	水温	前年差	平年差	評価
水産試験場(鶴岡市加茂港内)	8.1	-0.1	+0.8	やや高い
栽培漁業センター(鶴岡市三瀬地先)	8.8	-1.2	+0.4	平年並み

・地先水温: 水産試験場は「**やや高め**」、栽培漁業センターは「**平年並み**」の水温になっています。



# 2月の漁況

- ・延べ操業隻数は2,054隻で、前年比114%でした。
- ・総漁獲量は、567トンで前年比131%でした。
- ・底びき網漁業の漁獲量は460トンで前年比131%でした。この時期主対象となるマダラは238トンで前年比157%、前年比122%でした。その他の魚種では、タイ類、カレイ類、ハタハタ、アンコウ、アカエビ、タコ類等多くの魚種で前年を上回りました。
- ・はえなわ漁業の漁獲量は21トンで前年比133%でした。マダラ、アブラツノザメは前年を上回りましたが、タイ類、メバル類は前年を下回りました。
- ・その他の漁業では、さし網漁業のマガレイ、やりいか釣網漁業のヤリイカ、採貝藻漁業のアワビ、サザエが前年を上回りましたが、採貝藻漁業のナマコ、かご漁業のタコ類が前年を下回りました。
- ・さし網漁業のマガレイは、1隻1日当りの漁獲量が58kgと前年及び前年の135%と漁があり、マガレイ狙いの隻数も増えて漁獲量が増加したと考えられます。

## 全漁業支所別漁獲量

\* 前年比は平成18~22年までの平均値と比較した値です。  
単位: kg

支所	吹浦	飛鳥	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	55	482	192	162	264	280	142	477	2,054	98%	114%
計	60,302	21,268	104,205	43,499	99,606	38,098	2,556	197,773	567,304	127%	131%
前年比	177%	73%	122%	198%	127%	103%	78%	125%	127%		
前年比	185%	78%	148%	216%	138%	114%	112%	113%	131%		

## 底びき網漁業

単位: kg

支所	吹浦	酒田	加茂	由良	豊浦	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	36	79	18	101	59	206	499	123%	116%
タイ類	12	2,099	34	636	887	1,446	5,114	478%	179%
ヒラメ	308	396	650	748	644	1,918	4,664	188%	206%
カレイ類	937	1,802	494	2,665	1,234	2,835	9,967	120%	152%
ハタハタ	1,405	2,374		25,073	10,577	66,808	106,237	104%	141%
スケトウダラ	5,609	5,227		4,088	864	4,103	19,891	60%	104%
アンコウ	611	1,449	477	2,724	1,159	5,445	11,865	155%	150%
マダラ	38,951	65,931	10	49,798	10,611	72,413	237,714	157%	122%
アカエビ	588	3,368		1,534	427	12,355	18,272	8%	152%
タコ類	692	527	71	731	518	1,282	3,821	116%	128%
その他	2,558	7,852	361	5,482	4,689	21,515	42,457	129%	159%
計	51,671	91,025	2,097	93,479	31,610	190,120	460,002	128%	131%
前年比	180%	121%	151%	97%	102%	124%	128%		
前年比	181%	159%	111%	132%	109%	112%	131%		

## その他の漁業

漁業種類	さし網漁業		やりいか釣漁業	採貝藻漁業			かご漁業
	たらし網漁業	マダラ		アワビ	サザエ	ナマコ	
延べ操業隻数	253	24	222	507			108
対象魚種	マガレイ	マダラ	ヤリイカ	アワビ	サザエ	ナマコ	タコ類
漁獲量(トン)	6.9	10.4	2.1	1.8	2.5	1.8	3.5
前年比	186%	171%	122%	101%	134%	52%	58%
前年比	162%	82%	170%	126%	196%	66%	60%

## はえなわ漁業

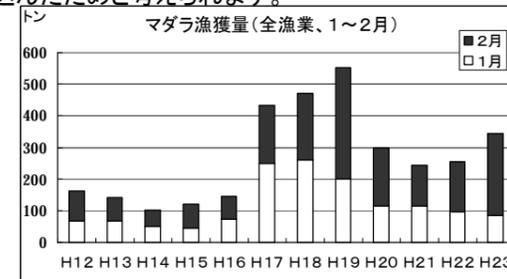
単位: kg

支所	吹浦	酒田	加茂・由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	3	28	92	96	36	47	302	92%	117%
タイ類				18	505	1,013	1,536	48%	57%
メバル類				24	340	643	1,007	48%	57%
マダラ		3,713					3,713	5304%	4018%
アブラツノザメ	55	4,490		67			4,612	112%	188%
タコ類			5,700	3,716	64		9,480	75%	111%
その他	25	353	63	296	93	93	923	300%	82%
計	80	8,556	5,763	4,121	1,002	1,749	21,271	97%	133%
前年比	-	180%	70%	98%	38%	82%	97%		
前年比	26%	346%	98%	124%	58%	79%	133%		

## 漁業情報

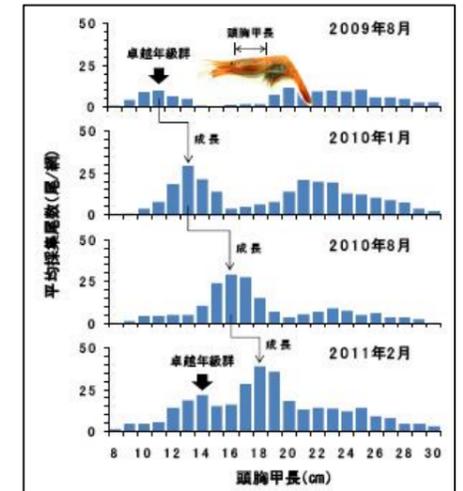
### 1 今期の寒ダラ漁の状況

- ・今期(1~2月)の寒ダラ漁は、344トンの水揚げがあり、前年の135%、過去10カ年平均の129%となりました。
- ・ただし、CPUE(=1隻1日当りのマダラ漁獲量)は地域間での差があり、「吹浦・酒田 > 由良・豊浦 > 鼠ヶ関」と、北部ほど大きくなる傾向がありました。
- ・地域間のばらつきの要因の一つとして、本県沖に暖水塊が接岸してたら場の水温に地域差が生じたことによると考えられます。また、吹浦・酒田地区では産卵後のマダラが2月下旬までまとまって獲れましたが、これは冷水が飛鳥沖に差込んだためと考えられます。



### 2 アカエビ(ホッコクアカエビ)の資源動向

- ・「石川県水産総合センターのホッコクアカエビ分布量調査」によると、2008年(平成20年)生まれの卓越年級群は順調に成長していて、平成23年2月の調査では頭胸甲長18mm付近に確認されました。この群れが漁獲サイズに成長する今年の秋以降漁獲量は増加すると予測されるということです。
- ・北部日本海各県のホッコクアカエビは同一資源であることから連動する傾向が強いため、本県のアカエビ漁においてもできるだけ大きくなってから獲ることが資源保護や価格面で有効ですので、小型エビをできるだけ獲らないようお願いいたします。



最上丸の調査予定(3月中旬~4月上旬)

### 底びき網調査、アユ稚魚調査、海洋観測

- ・底びき網調査(アラ場、ハタハタ加入量)を行います。
- ・アユ稚魚調査を行います。
- ・海洋観測を行います。



みなさま、調査へのご協力よろしくお願いします。